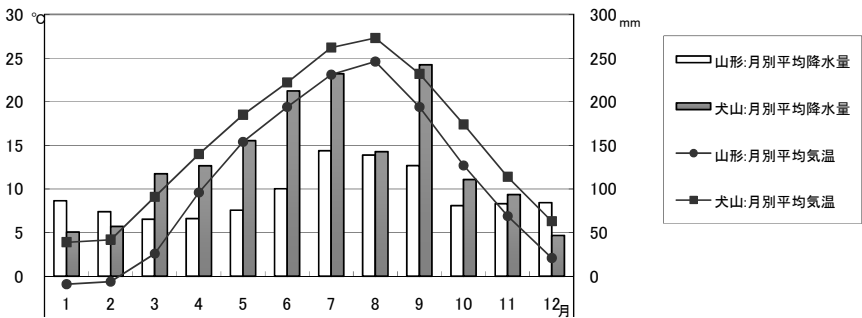


がっさんさんろく  
山形県 月山山麓の家

豪雪地帯の出羽山地、月山の麓、月山沢に、1767 年に建てられた中門づくりの養蚕農家を移築しました。月山沢は 1976 年にダム建設のため廃村となり、水没しました。



## きこう 気候と住まい：雪とともに暮らす冬

おもてめん 表面のグラフをみると、12月～2月にかけて、山形月山山麓の方ががっさんさんろうく 多山よりも月別平均降水量が多くなっていますが、その多くは雪です。冬のあいだ、3～4mもの雪が月山山麓では積もります。

### ちゅうもん 中門づくり

曲がり屋の一種で、日本海側の豪雪地帯に特徴的な建築様式です。土間の手前におおと がある大戸が家の入口で、中門は雪を払ったり、農具などの物置きとして使われ、屋内の暖気を逃がさない工夫です。冬の間は、中門の外に“雪ローカ”と呼ぶとっしゅつぷ 突出部を設けます。

### ゆきがに 雪囲い

深雪地帯では、冬になるとカヤやムシロで家を囲みます。これを雪囲いといいます。これは寒さ対策であるとともに、雪が家にくっついて押しつぶさないようにという工夫です。

### しょうじ 明かりとりの障子窓

雪囲いはしょうじ 障子の上の鴨居あたりまでおおうため、家の内部は薄暗くなってしまう。そのため、軒をできるだけ高くあげ、その壁に窓を設けて、さいにうぐち 採光口とします。

### いたかべ 板壁

土壁は雪に弱く、崩れてしまうので、板壁とします。

### 【重さ対策】

雪の重みに耐えるように、太くてがっしりした木材を柱や梁に使用します。

### 【雪おろし】

“雪ぼり”といい、ひと冬に6、7回は屋根に登って、雪を融雪池に落とし、水を流して溶かします。

### みちら 道踏み

冬、子どもたちは朝起きると、カンジキをつけて、まず道踏みをします。毎日のように、一日に何回もします。

